

平成25年度 第3回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成26年3月28日(木) 午前10時～午前11時30分
会場	旭町公民館1階 集会室
出席者	上野会長、塘委員、内海委員、松原委員、大鷲委員、高野委員、 園川委員、榎本委員、長谷川委員、小澤委員 10名 増山教育部長 小松次長(教育部次長兼生涯学習スポーツ課長) 加藤館長(中央)、倉石館長(東)、加納館長(南)、石丸館長(北)、 竹内館長(下蕨)、岡本館長(旭町)、松永係長(中央)、安部主 事(中央) <合計>20名
欠席者	梅田副会長、中村委員、大貫委員、菊池委員、宮田委員
添付資料	1、生涯学習活動推進事業報告書及び生涯学習活動推進事業プログラム 2、平成26年度 公民館事業計画一覧 3、平成26年度 当初公民館関係予算 4、第66回(平成25年度)優良公民館表彰について
会 議 内 容	
<p><公民館運営審議会> 午前10時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・上野会長あいさつ ・増山教育部長あいさつ 3. 前回会議録の承認 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動推進事業について 資料1『生涯学習活動推進事業報告書及び生涯学習活動推進事業プログラム』に基づき、中央公民館長から説明 委員：公民館にたくさんの方に来ていただき、次世代に生涯学習をつなげるに相応しい事業となった。 ・優良公民館表彰(旭町公民館)について 資料4『第66回(平成25年度)優良公民館表彰について』に基づき、旭町公民館長から説明 (2) 議題 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業計画について 資料2『平成26年度 公民館事業計画一覧』に基づき、各公民館長から説明 委員：子育てに関して、児童センター、公民館の事業内容が重なるような印象がある。公民館は本来「親育て」の事業のような気が 	

するが、各館それに関してはどのような取り組み、考えがあるのか。

中公館長：児童センターが18歳までを対象とした施設、公民館が年代に関わらず生涯学習の施設という違いがあり、公民館では家庭教育学級のなかで家庭教育力の向上をはかるため、しつけ・健康に関することなどを行っている。中央公民館としては家庭教育学級は親同士の仲間づくりという意味合いもある。

東公館長：事業としては親の学習を目的としたノーバディーズパーフェクトプログラム、mamma ひろばだが、救急・AEDに関する事業、食育に関する事業も展開している。

中公館長：西公民館についてはリトミック講座の中で講師から子育てワンポイントアドバイスをってもらうことのほか、仲間とのふれあいを通して仲間づくりを図る事業を行っている。

南公館長：食育（調理実習）や歯科医師を招いたこともある。参加者の興味によって参加・不参加が分かれてしまう現状があるので、学習と楽しみとの2つの兼ね合いを探りつつ講座運営を行っている。

北公館長：児童館との複合施設であるので、講座の内容が重ならないよう、すみ分けをしている。ママ北会、リトミック講座、プレ幼稚園の3講座は家庭教育として一連の事業になっており、児童館の「楽しむ事業」に比べて、教育的事業を入れている。対して児童館は子育てを楽しい、と体感する事業となっている。

委員：地域のお母さんの取り合いになっているような感じがある。0歳児の親をどう地域にとり込むか、親同士の仲間づくりのみならず、そのつながりをどう地域に残していくかが課題と感じる。

委員：市の面積が狭いと言えど、各公民館でコンサート事業があるのはよいことだ。それぞれの催し物の日程が重ならないようにしていただきたい。蕨市在住のクラシック音楽家が集まり、4月13日に市音楽協会も発足する。今後協力できることがあればよいと思う。

委員：旭町公民館の「ふりーすぺーす」事業について詳しく聞きたい。

旭公館長：今年に入ってから開催しているもので、図書館から借りてきた本の読み聞かせやお手玉、けん玉、お菓子づくりなどを行っている。また、3階で市民の方から集めたプラレールを使ってみなさんで遊んでもらうこともしている。開催が午前中だけであり時間が短く、まだ3回しか行ってないが、続けてきてくださる方もいるので、このような場を通じて世代間交流を行っていききたい。毎回テーマをもって、世代にとらわれず交流していただこうと思っている。

委員：みんなが交流する場としてよいのではないか。

委員：高齢者学級の人気はどうか。

中公館長：中央公民館は申込初日に定員に達してしまい、抽選を行うほど人気となっている。男性の参加が少ないので増やしていきたい。

委員：勉強会等はしないのか。相続税・資産運用などニーズはあると思う。

教育部長：高齢者学級の中で行っているが、参加できない方、長期的な学習を遠慮する方もいらっしゃるのでスポット的な学習の中で取り入れることは可能である。

委員：青少年事業の中にアウトメディアの講演会があるとよいのではないか。メディアをよく使う子どもたちが直接知る機会が必要であると思う。

委員：公民館で行うより、学校の授業の中にいれてもらえたらよいと思う。

・平成26年度 当初公民館関係予算について

資料3『平成26年度 当初公民館関係予算』に基づき、中央公民館長から説明

委員：旭町公民館の運営費はすべて委託料でまかなっているのか。

教育部長：基本的にはそうである。大規模改修については市が負担するが現時点の細かい修繕については、基本的に委託料で賄ってもらう。

委員：市民会館のホールも教育委員会の管理下にあるのか。

中公館長：中央公民館は市民会館との複合施設であるが、電気料金など施設にかかる費用は按分で負担している。

教育部長：今回挙げた予算は公民館関係部分のものであり、全体としてかかる費用はもっと大きな額になる。

委員：耐震化事業について、平成26年度は東公民館、南公民館であるが、ほかの公民館はどうか。

教育部長：平成25年度、東、南、西公民館の耐震診断を行った。うち、西公民館については耐震性は満たされていると判明したため、耐震化は行わないが改修工事は行う予定である。平成26年は東公民館、南公民館の耐震補強工事設計と北町公民館の耐震診断を行う予定である。

委員：中央公民館にエレベータはつく予定か。

中公館長：現在耐震化を進めている段階であり、バリアフリーはその後に行うと思われる。

(3) その他

小松次長他職員あいさつ

5. 閉会 会長挨拶

